

フィガロン乳剤散布による温州ミカン施設栽培樹の秋芽抑制と着花向上効果						
〔要約〕 温州ミカン施設栽培樹は、秋芽が発生すると加温後の着花は少ない。夏季せん定樹で、新しう緑化後、フィガロン乳剤(1,000倍)を散布すると、秋芽の発生が抑制され、加温後の着花数が多くなる。						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成11年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

温州ミカンの施設栽培では、秋芽の発生が加温後の着花不安定の一因になっていることが想定されている。

そこで、夏季せん定時期及び植物調節剤処理と秋枝の発生、加温後の発芽・開花との関係を調査し、着花阻害要因を明らかにする。

《夏季せん定時期とフィガロン乳剤処理》

処理	せん定時期	発芽期	処理法	処理濃度	処理時期	加温時期
I	6月15日	6月25日	無散布	—	—	1月5日
II	"	"	1回散布	1,000倍	8月3日	"
III	"	"	2回散布	1,000倍	8月3日, 8月21日	"
IV	7月2日	7月9日	無散布	—	—	1月5日
V	"	"	1回散布	1,000倍	8月21日	"
VI	"	"	2回散布	1,000倍	8月21日, 9月7日	"

《夏季せん定時期と主枝別植物調節剤処理》

処理	せん定時期	発芽期	薬剤名	処理濃度	処理時期	加温時期
I	6月15日	6月25日	無散布	—	—	1月5日
II	"	"	フィガロン	1,000倍	8月3日	"
III	"	"	エルノー	200倍	8月3日	"
IV	7月2日	7月9日	無散布	—	—	1月5日
V	"	"	フィガロン	1,000倍	8月21日	"
VI	"	"	エルノー	200倍	8月21日	"

[成果の内容・特徴]

- ① 6月15日せん定樹では、フィガロン乳剤散布によって秋芽の発生が抑えられ、加温後の夏枝母枝での発芽節率、全節数当たり着花率及び発芽節数当たり着花率が高く、母枝当たり着花数も多い(表1)。
- ② 7月2日せん定樹では、無散布の対照樹でも秋芽の発生が少なく、加温後の着花はフィガロン乳剤散布樹と違いはみられない(表1)。
- ③ フィガロン乳剤の主枝別散布でも、散布枝は秋芽の発生が抑えられ、加温後の夏枝母枝での発芽節率、全節数当たり着花率及び発芽節数当たり着花率が高く、母枝当たり着花数も多い(表2)。

[成果の活用面・留意点]

- ① フィガロン乳剤の連用による樹勢低下に注意する。
- ② エルノー液剤は、散布時期によっては薬効が長期間持続し、開花に影響を及ぼすことがあるので、使用する場合は十分注意する。

[具体的データ]

表1 夏季せん定時期、フィガロン乳剤処理と秋芽の発生及び加温後の発芽率、着花程度

せん定 時期	フィガロン 処理	秋芽本数*	秋芽長 (cm)	夏枝母枝での発芽率、着花程度				
				発芽節率 (%)	着花率-1' (%)	着花率-2' (%)	着花数*	直花率' (%)
6月15日	対 照	1.1	34.8	11.3	9.1	87.3	0.9	37.1
"	1回散布	0.4	16.5	59.4	67.7	109.1	7.3	53.8
"	2回散布	0	-	68.9	81.0	108.5	8.2	72.1
7月2日	対 照	0	-	74.6	96.3	124.2	8.7	39.6
"	1回散布	0.1	5.0	69.3	78.7	99.1	7.3	50.7
"	2回散布	0.2	8.0	61.4	64.6	104.2	5.6	67.7

\* 夏枝母枝当たり秋枝本数    ' 全節数当たり着花率    \* 発芽節数当たり着花率  
\* 母枝当たり着花数        ' 全花数に対する直花数の割合

表2 夏季せん定時期、主枝別植物調節剤処理と秋芽の発生及び加温後の発芽率、着花程度

せん定 時期	植調節 処理	秋芽本数*	秋芽長 (cm)	夏枝母枝での発芽率、着花程度				
				発芽節率 (%)	着花率-1' (%)	着花率-2' (%)	着花数*	直花率' (%)
6月15日	対 照	1.2	44.4	30.7	28.5	85.7	2.2	77.1
"	フィガロン	0.1	42.0	73.4	93.8	130.4	9.1	76.4
"	エリノール	1.4	28.5	28.3	35.9	94.1	3.1	71.1
7月15日	対 照	0.5	24.6	59.1	60.1	98.8	4.9	66.1
"	フィガロン	0.1	18.0	66.5	80.5	127.8	6.6	83.6
"	エリノール	0.8	19.5	59.1	41.5	70.7	3.6	59.9

\* 夏枝母枝当たり発生本数    ' 全節数当たり着花率    \* 発芽節数当たり着花率  
\* 母枝当たり着花数        ' 全花数に対する直花数の割合

[その他]

研究課題名：温州ミカンの施設栽培における改植園の早期多収栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成11年度（平成11年～12年）

研究担当者：濱口壽幸